

25  
KIOI HALL  
NIPPON STEEL  
Arts Foundation

朗読と組踊  
玉城朝薫  
が紡いだ  
歌舞

琉球楽劇の創始者

紀尾井ホール開館25周年  
特別公演として、「組踊」  
の創始者玉城朝薫に焦点を  
当てた朗読劇と組踊を上演  
します。

琉球王府の官吏であり、  
踊奉行だった朝薫が創作し  
た『執心鐘入』『二童敵討』護  
佐丸敵討』『銘苅子』『女  
物狂』『孝行の巻』の5作  
品は「朝薫の五番」と称さ  
れて沖縄で大切にされてい  
ます。

第一部では、玉城朝薫が  
生み出した組踊の軌跡を、  
沖縄言葉の朗読と琉球古典  
音楽で辿ります。第二部は朝  
薫の五番のうち初めに作られ  
た組踊から『執心鐘入』(6日)、  
『二童敵討』(7日)を日替わ  
りでお楽しみ下さい。

2020年11月6日(金) 午後2時開演 (1時30分開場)  
7日(土) 午後2時開演 (1時30分開場)

第一部

朗読劇『國戯誕生～玉城朝薫が紡いだ歌舞～』  
原作：大城立裕「花の碑」 脚本・演出：嘉数道彦 振付：玉城匠 音楽：仲村逸夫

玉城朝薫 東江 裕吉  
平敷屋朝敏 金城 真次  
チラー 知念 亜希  
踊り 宮城 茂雄 (6日) 佐辺 良和 (7日)  
語り部 玉城 匠

第二部

『執心鐘入』(6日) 『二童敵討』(7日)  
中城若松 金城 真次 あまおへ 宇座 仁一  
宿の女 佐辺 良和 鶴松 宮城 茂雄  
座主 宇座 仁一 亀千代 金城 真次  
小僧一 嘉数 道彦 母 新垣 悟  
小僧二 新垣 悟 供一 上原 崇弘  
小僧三 玉城 匠 供二 佐辺 良和  
後見 上原 崇弘 きやうちやこ持ち 玉城 匠

地謡

歌三線 新垣 俊道、仲村 逸夫  
玉城 和樹、大城 貴幸  
箏 町田 倫士  
笛 入嵩西 論  
胡弓 森田 夏子  
太鼓 久志 大樹

監修 徳丸吉彦  
制作協力 シアター・クリエイト

立方指導：宮城 能風(執心鐘入)  
真境名 正憲(二童敵討)  
地謡指導：比嘉 康春



写真：国立劇場おきなわ

料金(税込) 全席指定 6,000円 15% OFF U29 3,000円 2日間セット券 11,000円

友の会優先発売 5月12日(火) 一般発売 5月14日(木)  
優先・一般ともに紀尾井ホールウェブチケット・午前0時～ 電話受付・午前10時～

※ 紀尾井ホール25周年を記念して、友の会会員様は定価の15%割引でご購入いただけます。(U29および2日間セット券は除く)  
※ 友の会割引は一般会員様4枚までとなります。ただし、優先期間中は2枚までの販売となります。

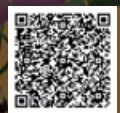
※ 優先販売で予定枚数に達した場合、一般販売はございません。 ※セット券は両日とも同一のお席をご用意致します。

U29 公演日当日に小学生～29歳以下の方ならどなたでも利用できるチケットです。紀尾井ホールウェブチケットのみで取扱います。枚数には制限があります。詳しくは、紀尾井ホールウェブサイトへ。

チケットお取扱い

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp>

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 (10時～18時/日・祝休)



※ 料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。※ やむを得ない事情により公演中止となる場合には、チケット購入者に券面表示金額にて払戻しいたします。手数料等の払戻しはございません。予めご了承ください。※ 出演者・曲目・演劇順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。※ 小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。※ 乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。※ スペースに限りがありますので、車いすでご来場の方は事前に必ずご相談ください。※ 演奏中のご入場はご遠慮いただいております。

紀尾井小ホール  
紀尾井ホール5F

公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 千代田区紀尾井町6番5号  
<https://kioihall.jp>  
TEL.03-5276-4500 (代表)

# 玉城朝薫が紡いだ歌舞



## 玉城朝薫

首里生まれ。琉球王朝の官僚。領主の家に生まれました。幼い時に父と死別、母との離別により祖父に養育され、8歳で家を継ぎます。官僚としても領主としても有能でしたが、朝薫の芸能的才能は早くから開花し、20歳頃、2度目に薩摩に上国した時、薩摩藩主の前で仕舞「軒端の梅」を舞うほど、本土の芸能に精通していました。生涯で薩摩上り5回、江戸上り2回を経験し、大和芸能への造詣は非常に深いものになっていきました。1718年、中国からの使者 冊封使をもってなす御冠船踊の踊奉行に任命され、翌19年の歓待の宴で創作した組踊が初めて上演されました。演目は「二童敵討」（護佐丸敵討）と「執心鐘入」の二番。朝薫はこの二番の他に「銘苺子」「女物狂」「孝行の巻」も創作し、上演されました。朝薫のこれらの作品を「朝薫の五番」と称しています。

## 朗読劇『國戯誕生～玉城朝薫が紡いだ歌舞～』

### あらすじ

新しい踊りを創るよう王命をうけた玉城朝薫（東江裕吉）は、かねてから知識を備えていた大和の能楽を真似てみようかと、試行錯誤を繰り返していました。一方、平敷産朝敬（金城真次）は新たな感性で新しい歌のスタイルを確立していました。朝薫は、朝敬の新しい歌に対して、また、朝敏と遊女チラー（知念亜希）との恋に対して心配を示します。しかし、朝敏とチラーの間を恐るるに、二人で恋を全うしようとする姿に、ヒントを得て組踊を作り上げていきます。それぞれの舞台に対する思いが交差するなか、いよいよ冊封使を歓待する御冠船踊がはじまります。

## 執心鐘入（6日）

しゅうしんかねいり  
なかぐすくわかまつ  
中城若松という美少年が首里に奉公に行く途中、日暮れて一夜の宿を求めます。宿の娘は一度断りますが、若松とわかまつと喜んで迎え入れます。休みを取りたい若松は、語り明かしたいと言いつつ娘に嫌気が差し宿を出ますが、娘は追いかけてきたため、寺に救いを求めて駆け込みます。寺の座主は鐘の中に若松をかくまって小僧に見張りと言いつけます。女人禁制の寺に乗り込んだ娘は鐘が怪しいと怒り狂い鬼女に変化します。

## 二童敵討（護佐丸敵討）（7日）

に どうてきうち  
にさまる あまわり  
1458（尚泰久5）年の「護佐丸・阿麻和利の変」を元にした作品です。あまおへ（阿麻和利）は天下を取るため、護佐丸を、計略を用いて首里王府で攻め滅ぼします。護佐丸の遺児、鶴松と亀千代の兄弟は敵討ちの機会を狙っていました。あまおへが野遊びをすると聞き、二人があまおへに近づくと、あまおへは二人に踊を見せろと命じ、酒を注がせます。そのうちにあまおへは着物を脱いで二人に与えます。二人はその隙を突いて、親の敵を討ちます。

<p><b>東江裕吉</b> あがりえゆうきち 玉城流玉扇福珠会師範。玉城静江・組踊を宮城能風に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>宇座仁一</b> うざにいち 宮城流能史之会師範。宮城能史・宮城能之に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>新垣悟</b> あらがせご 宮城本流風乃會教師。宮城能風に師事。</p>	<p><b>金城真次</b> きんじょうしんじ 玉城流扇寿会教師。谷田嘉子・金城美枝子に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>	<p><b>宮城茂雄</b> みやぎしげお 宮城流師範。二代目宮城能造に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>歌三線</b></p> <p><b>新垣俊道</b> あらがせしんみち 琉球古典音楽野村流保存会師範。新垣一雄に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>
<p><b>佐辺良和</b> さへよしわ 琉球舞踊世流舞良和の会会士。又吉世子に師事。第十九回日本伝統文化振興財団賞受賞。沖縄タイムス芸術選奨大賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>	<p><b>嘉数道彦</b> かすみちひこ 宮城流能里乃會師範。初代宮城能造、宮城能里に師事。第39回松尾芸能賞新人賞舞踊部門受賞。沖縄タイムス芸術選奨大賞受賞。</p>	<p><b>玉城匠</b> たまぎたくみ 宮城流豊舞会教師。宮城豊子・鳥袋美智子に師事。国立劇場おきなわ第二期組踊研修修了。</p>	<p><b>仲村逸夫</b> なかもらいつお 琉球古典音楽野村流保存会師範。比嘉康春に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>	<p><b>町田倫士</b> まちだのりし 琉球争曲舞踊会教師。山内照子に師事。国立劇場おきなわ第五期組踊研修修了。</p>	<p><b>入高西諭</b> いりたにしん 琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。大湾清之に師事。最高賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>
<p><b>上原崇弘</b> うへはらたかひろ 玉城流喜納の会教師。伊波正正に師事。国立劇場おきなわ第二期組踊研修修了。</p>	<p><b>大城貴幸</b> おおしろたかゆき 琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。濱本盛爾に師事。国立劇場おきなわ第二期組踊研修修了。</p>	<p><b>玉城和樹</b> たまぎわかつき 琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。西江喜春に師事。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>	<p><b>森田夏子</b> もりたなつこ 琉球古典音楽野村流保存会師範。又吉真也に師事。</p>	<p><b>久志大樹</b> くしだいき 光史流太鼓保存会師範。鳥袋光史・比嘉聰に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>太鼓</b></p>
<p><b>知念亜希</b> ちねんあき 玉城流翔節会師範。我如古磨佐子に師事。</p>	<p><b>宮城能史</b> みやぎのぶみ 宮城能史・宮城能之に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>宮城能之</b> みやぎのぶみ 宮城能史・宮城能之に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>宮城美枝子</b> みやぎみえこ 金城真次に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>新垣一雄</b> あらがせかずお 新垣俊道に師事。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。</p>	<p><b>山内照子</b> やまうちてるこ 町田倫士に師事。国立劇場おきなわ第五期組踊研修修了。</p>

「紀尾井友の会」会員募集（年会費3,000円・入会金不要）  
お申込は紀尾井ホールウェブチケットで。お電話でもお申し込みいただけます。  
紀尾井友の会事務局 TEL 03-5276-4540 (10:00~17:00/土日祝日休)

会場のご案内

最寄駅  
●四ツ谷駅 (JR線・丸ノ内線・南北線) 麹町口徒歩6分  
●赤坂見附駅 (銀線・丸ノ内線) D出口徒歩8分  
●麹町駅 (有楽町線) 2番出口徒歩8分  
●永田町駅 (半蔵線・有楽町線) 7番出口徒歩8分

紀尾井ホールサポートシステム  
紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です  
(五十音順・「株式会社」等表記および敬称略)

《特別協賛会員》A.ランゲ&ゾーネ/日鉄ソリューションズ/三菱商事/三菱地所  
《みやび会員》伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社  
《ひびき会員》オカムラ/きらぼし銀行/高砂熱学工業/竹中工務店/山下設計  
《みどり会員》青鬼運送/赤坂維新號/赤坂エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エーケーティ/A.ランゲ&ゾーネ/NSシンフォニー・オーケストラ/NTTドコモ/住原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/スタインウェイ・ジャパン/西武プロパティーズ/大成建設/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/日活アド・エイジェンシー/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士ゼロックス/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱電機ビルテクノサービス/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJ Jモルガン・スタンレー証券/ミュージジョン/明治座舞台/ヤマフ/ヤマハサウンドシステム/有帆  
《あおい会員》青木陽介/石崎智代/磯部治生/井上善雄/片山能輔/久保祐子/倉吉遼介/栗山信子/近藤貴子/佐久間庸行/佐部いく子/志立正嗣/清水 正/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謹吉/高橋義徳/外山雄三/鳥居庄太/中西達郎/西村剌美/原田清朗/北條哲也/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/養輪永世/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/山内寿実 ほかに匿名20名 計105口  
(2020年4月1日現在)